



東広島で活躍中の地域活動団体を
のぞいてみよう！

オペラ実行委員会 ヴィータ◆ムジカーレ◆東広島



2025年5月 歌劇『アイダ』（エジプトの物語）の閉幕後

東広島市民が作る、本格オペラの活動

オペラ実行委員会 ヴィータ◆ムジカーレ◆東広島は、東広島市で市民が主体となって本格的なオペラを20年以上公演し続けている団体です。活動の舞台は、東広島芸術文化ホールくららをはじめとした市内各所で、「東広島で本格的なオペラを根付かせる」ことを目標に活動を続けています。



市民が主役 プロとともに創る舞台

活動には、30代から70代まで幅広い世代が参加しています。特にオペラの合唱団の育成に力を入れており、一人ひとりの成長を大切にしながら日々の練習・舞台づくりを行っています。

練習は週1回（水曜19時～）を基本に、約1年をかけて作品を仕上げ、東広島芸術文化ホールくららで公演を行います。

舞台に立つのは市民である団員たち。一方で、照明や音響などの裏方はプロの技術スタッフが担当しています。一つの舞台には100人以上が関わり、それぞれの力を持ち寄ってプロの主要キャストと共に本格的なオペラをつくりあげています。

ぜひ「生」で体感してほしいオペラの魅力

オペラの迫力や空気感は、動画や写真では伝わりきらないものがあります。

幕が上がる瞬間の高揚感、会場全体が物語に包まれていく感覚。団員とプロのオペラ歌手や技術スタッフが一体となって作り上げる舞台には、その場にいるからこそ感じられる熱量があります。

オペラの物語は恋愛や人間関係をテーマにしたものが多く、くすりと笑えたり、思わず涙がこぼれたり、ドラマのように楽しめるのも魅力のひとつです。

そして最大の見どころは、クライマックスの大合唱（コンチェルト）。全員の声が重なり合う瞬間は圧巻で、体の奥まで響くような迫力です。

公演はイタリア語などで歌われますが、日本語字幕があります。本番公演の約3ヶ月前にはプレイベントも開催しており、ストーリーや見どころやマナーについて事前に知ることができるので初めての方も安心して楽しめます。

東広島芸術文化ホールくららで、その魅力を「生」で体感していただきたいです。

「東広島で本格オペラを」という熱い想いを原動力に、20年以上活動を続けています。市民が主体となり、その想いを舞台へとつなげています。

新規合唱団員 募集中

オペラ実行委員会ヴィータ◆ムジカーレ◆東広島では新規合唱団員を募集しています。未経験の方でも大丈夫です！30代～70代まで幅広い世代が参加し、合唱団を中心に活動しています。週1回の練習を基本に、「できることを、できる人がする」形で無理なく関わられます。舞台だけでなく、衣装や小道具づくりなど関わり方もさまざまです。興味のある方は、見学からでもお気軽にご参加ください。男性の方のご参加もお待ちしています。



東広島市制50周年記念式典アトラクションにて、オリジナル作品『未来ポスト』を上演

団体プロフィール

- 団体名 オペラ実行委員会ヴィータ◆ムジカーレ◆東広島
- 設立 2001年
- 活動人数 15名
- 活動拠点 もりてつや音楽教室、くらら大ホール、くらら小ホール
- 主な活動 定期公演会（年1回）

★プレイベント 2026年6月13日（土）14：00～ 【場所】くらら小ホール

★2026年公演日 2026年9月5日（土）・6日（日） 【場所】くらら大ホール

Instagram

